



市議会 だより

city
assembly
report

Vol. 29

おもな内容

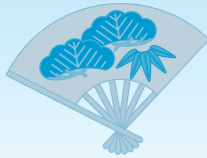
- 特集／新春の抱負
議長・副議長・常任委員長に聞く 2～3
- 議案審議 4～5
- 常任委員会報告 6～9
- 一般質問目次 10
- 一般質問(17名が問う) 11～16
- 特別委員会報告 17・18
- 組合議会報告 19
- こうか再発見 Vol.1 20



消防出初式 (1月8日)

2012年新春の抱負

議長・副議長・常任委員長に聞く



開かれた 議会をめざす



議長 岩田 孝之

輝かしい新年をお健やかに
かにお迎えになり心からお慶び
申し上げます。
昨年、3月11日の東日本大震災、津波、原発事故、更には紀伊半島を襲った未曾有の豪雨等、大変な1年でありました。普通に暮らせる事がこんなに有り難い幸せな事であるかを実感し感謝した年でもありません。

さて、甲賀市は合併して8年目を迎えています。5つの町の合併時の懸案事項も一定の目的が達成され、甲賀市の厳しい財政状況も危機的状況を脱し、市民に向け新たな夢を、施策を語る段階を迎えています。中でも、自治振興会と行政との協働による地域コミュニティの取り組みは、甲賀市の市政運営の鍵を握る重要な施策であると考えております。
また、市が進めている、震災を受けての防災計画の見直し等、市民の安全・安心を確保する対策については、議会として大限の努力を致す決意を致しております。議会では今、議会基本条例の策定に向け取り組みしており、近々皆さまにお諮りする予定です。執行機関と議会の二元代表制を基本に、執行の追認機関と批判されることのない、チェックと提案機能を生かした、開かれた議会運営をめざします。
本年が市民の皆さまにとって平穏で良き年であり、ますますのご祈念申し上げます。ご挨拶と致します。

開かれた 議会をめざして



より安心安全な まちづくりへ



副議長 橋本 律子

新年あけましておめでとうございます。平穏な新年を迎えられる幸せ、被災地への復興祈念をこめながら、感謝のこころで新たな一年をスタートしました。

心安全なくらしを基本にし、皆様とともに細かな配慮を加えながら一歩前進していきたくと思っております。また、今後の新しいコミュニティの創造には、格差のない情報発信が必要であります。そのためには、皆様からの現場の声を大事にし、さらにお知恵をお借りし、よりよいまちづくりに努めてまいります。
今後の課題でもありますが、公共施設や組織・統合等についても、充分な議論を交わしていただき、よりよいあり方に向け、目くばり、気づき、痛みを感じているところ、甲賀市の歴史や文化の礎を大切に、次世代の子どもたちに何をどのように継承していくかが私たちに課せられた責務と考えます。玉磨かざれば光なし、いいものをよりよく生かしながら、議長の補佐役として、日々精進してまいります。皆様にとって本年も、昇り竜のごとく、よりよい年であり、ますますにお祈り致します。

住み心地日本一の 甲賀をめざして



総務常任委員長 中西 弥兵衛

◎自治振興会の充実と
◎甲賀市庁舎改修整備の検討について。
（情報基盤整備については特別委員会にて検討中です。）
いづれも市民生活に深く関わる身近な事項であると同時に、合併8年

新しい地域づくりの取り組み
◎東日本大震災による原発事故をふまえた防災計画の見直し
◎新名神高速道路活用戦略の策定による「理想郷こうか」実現の取り組み
◎甲賀市庁舎改修整備の検討について。
（情報基盤整備については特別委員会にて検討中です。）
いづれも市民生活に深く関わる身近な事項であると同時に、合併8年担当する常任委員会で、健康福祉部と市民環境部、病院診療所事業が所管となります。
昨年は3・11の東日本大震災や台風による大洪水など、住民の生命が大きな危機にさらされた二年でありました。さらに一向に光明が射してこない世界中を覆う経済不安。今年こそは良い年であることをお祈り致します。
甲賀市においても少子高齢社会への波は確実に押し寄せてきています。今後ますます医療費や介護保険費などの社会保障関係の予算は増加していかざるを得ません。厳しい財政状況下にある中、国民健康保険や介護保険制度などの健全維持と、市民に過重の負担を掛けることのないように、難しい舵取りが行政に求められます。
行政施策について市民の目線に立ち、真摯に公正な審査検討を重ねていきたいと考えております。

市民の目線で



民生常任委員長の場 計利

◎自治振興会の充実と
◎甲賀市庁舎改修整備の検討について。
（情報基盤整備については特別委員会にて検討中です。）
いづれも市民生活に深く関わる身近な事項であると同時に、合併8年

担当する常任委員会で、健康福祉部と市民環境部、病院診療所事業が所管となります。
昨年は3・11の東日本大震災や台風による大洪水など、住民の生命が大きな危機にさらされた二年でありました。さらに一向に光明が射してこない世界中を覆う経済不安。今年こそは良い年であることをお祈り致します。
甲賀市においても少子高齢社会への波は確実に押し寄せてきています。今後ますます医療費や介護保険費などの社会保障関係の予算は増加していかざるを得ません。厳しい財政状況下にある中、国民健康保険や介護保険制度などの健全維持と、市民に過重の負担を掛けることのないように、難しい舵取りが行政に求められます。
行政施策について市民の目線に立ち、真摯に公正な審査検討を重ねていきたいと考えております。

教育環境の充実 をめざして



文教常任委員長 藤野 忠

◎自治振興会の充実と
◎甲賀市庁舎改修整備の検討について。
（情報基盤整備については特別委員会にて検討中です。）
いづれも市民生活に深く関わる身近な事項であると同時に、合併8年

るまで幅広く関わる委員会です。市民の皆さんが、住んで良かったと思えるまちづくりの中に、生涯を通して取り組める文化や芸術またスポーツなど欠かす事の出来ない役割を担っていると思っております。市民の皆さんの目線に立った教育施策を行うてもらえるよう、多くの課題を慎重に審査していきたいと考えます。
昨年は3・11東日本大震災により自然災害の脅威を感じる年でもあり、小中学校の耐震化もあと少しですが、早期の完了を願うところです。また、保育園、幼稚園の園舎も対応して行かなくてはなりません。認定こども園の問題や、学校の統廃合など、まだまだ課題は山積しています。
次の世代を担ってくれる子どもたちにとって一番の教育環境は何かという大変大きな課題に向けて取り組んでいきたいと思っております。

作業服を着て 現地にて確認を



産業建設常任委員長 土山 定信

◎自治振興会の充実と
◎甲賀市庁舎改修整備の検討について。
（情報基盤整備については特別委員会にて検討中です。）
いづれも市民生活に深く関わる身近な事項であると同時に、合併8年

活に直接影響する内容がすべてであり、付託される諸問題については、机上で判断するべきではないとしたものは、とにかく作業服を着て現地を調査していきたいと考えています。
委員会開催内容は、甲賀市の水道も含むインフラ整備案件は勿論、『甲賀市景観条例』等の都市計画的な内容も含まれます。極めて大切な甲賀市の方向付けであり、決定していく過程も大切であり、より早く報告していくことは勿論のこと、皆さんの意見が生かされているかを、常に審査、確認してまいります。
産業関係につきましては、民間経営を念頭に置き市行政に対して意見していきます。市民の皆さんに納得していただけるように、委員と共に取り組むことを、私の抱負いたします。

議会で審議したもの

人事・条例・補正予算・契約・意見書・請願 ほか

条例、補正予算など43議案を審議

第6回甲賀市議会12月定例会は11月29日から12月16日までの18日間にわたり開催され、人事1件、条例7件、補正予算10件、契約1件、その他24件について審議しました。各議案に対する採決結果は次の通りです。

人事

- ◆教育委員会委員の任命
小川浩美氏
(全員賛成にて同意)

条例制定

- ◆甲賀市暴力団排除条例
(全員賛成にて可決)
- ◆甲賀市景観条例
(全員賛成にて可決)
- ◆甲賀市市民福祉活動センター条例
(全員賛成にて可決)
- ◆職員給与に関する条例の一部を改正する条例
(賛成多数にて可決)
- ◆甲賀市林業集会所施設条例の一部を改正する条例
(賛成多数にて可決)
- ◆甲賀市みんなのまちを守り育てる条例の

補正予算

- ◆一般会計(第6号)
(賛成多数にて可決)
- ◆国民健康保険特別会計(第2号)
- ◆介護保険特別会計(第2号)
- ◆公共下水道事業特別会計(第2号)
- ◆農業集落排水事業特別会計(第2号)
- ◆国民健康保険診療所特別会計(第3号)
- ◆浄化槽管理事業特別会計(第2号)
- ◆介護老人保健施設事業特別会計(第1号)

契約の締結

- ◆地域情報化基盤整備事業センター設備工事
契約額
5億1,277万円
契約の相手方
パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社(賛成多数により可決)



センター設備工事が行われる土山地域市民センター

市道路線の廃止・認定

- ◆病院事業会計(第1号)
- ◆水道事業会計(第2号)
(以上9件については全員賛成にて可決)
- ◆古城が丘団地16号線(水口町)の廃止
(全員賛成にて可決)
- ◆大野1号線(土山町)の認定
(全員賛成にて可決)



大野交差点改良工事に伴う大野1号線

財産の取得の変更

- ◆鳥獣侵入防止柵資材購入(その1)
(水口・土山地区)
1,127万2,800円
の減額
- ◆鳥獣侵入防止柵資材購入(その2)
(甲賀地区)
1,118万400円
の増額
- ◆鳥獣侵入防止柵資材購入(その3)
(甲南地区)
1,212万6,450円
の減額



市内で設置が進む鳥獣侵入防止柵

その他

- ◆甲賀市長の専決処分事項の指定につき議決を求めることについての一部改正
(賛成多数により可決)
- ◆一般会計補正予算(第5号)
- ◆鉄道施設整備基金特別会計補正予算(第1号)
(以上2件については全員賛成にて承認)

請願

- ◆年金受給資格期間の10年への短縮を求める請願
(賛成少数にて不採択)
- ◆消費税によらない最低保障年金制度の創設を求める請願
(賛成少数にて不採択)
- ◆無年金・低年金者への基礎年金国庫負担分3万3千円の支給を求める請願
(賛成少数にて不採択)
- ◆「日米地位協定」の見直しを求める請願書
滋賀県平和委員会
(全員賛成により採択)
- ◆消費税の増税に反対する請願書
(賛成少数にて不採択)

意見書

- ◆暮らし・農業・地域を破壊するTPP参加に反対する意見書
(賛成多数にて可決)
- ◆「子ども・子育て新システム」を導入せず、現行の保育制度の維持・拡充を求める意見書
(賛成少数にて否決)
- ◆3種ワクチン助成の継続と国の制度化を求める意見書
(全員賛成にて可決)
- ◆沖縄県民の意思を踏みにじる日米両政府の基地押し付けに反対する意見書
(賛成少数にて否決)
- ◆福井県原発群からの撤退を求める意見書
(賛成少数にて否決)
- ◆アメリカ産牛肉の輸入規制緩和の要求に反対する意見書
(全員賛成にて可決)
- ◆県福祉医療費助成制度の継続を求める意見書
(全員賛成にて可決)
- ◆「日米地位協定」の見直しを求める意見書
(全員賛成にて可決)

臨時会

11月4日

平成23年第5回臨時会は、1日間の会期で議会3特別委員会、2特別委員会の中間報告3件、専決処分4件、議案2件の審議と、議事人事の改選を行いました。

補正予算

- ◆平成23年度甲賀市一般会計補正予算(第4号)
(全員賛成にて可決)

人事

- ◆甲賀市監査委員の選任
加藤 和孝
(賛成多数にて同意)

議会人事

- ◆議長 岩田 孝之
- ◆副議長 橋本 律子

常任委員会

- ◆総務常任委員会
◎中西弥兵衛 ○葛原 章年
山岡 光広 谷永 兼二
辻 重治 白坂萬里子
石川善太郎

民生常任委員会

- ◎的場 計利 ○小西喜代次
鷗飼 勲 木村 泰男
中島 茂 橋本 律子

文教常任委員会

- ◎拙 藤男 ○田中 新人
加藤 和孝 野田 卓治
安井 直明 今村 和夫
服部 治男

産業建設常任委員会

- ◎土山 定信 ○橋本 恒典
森嶋 克巳 小松 正人
伴 資男 村山 庄衛

議会運営委員会

- ◎服部 治男 ○安井 直明
土山 定信 的場 計利
拙 藤男 加藤 和孝
中西弥兵衛 石川善太郎
今村 和夫

特別委員会

- ◆広報特別委員会
◎谷永 兼二 ○小西喜代次
森嶋 克巳 橋本 恒典
拙 藤男 白坂萬里子
今村 和夫 橋本 律子

議会改革特別委員会

- ◎石川善太郎 ○加藤 和孝
的場 計利 伴 資男
村山 庄衛 安井 直明
葛原 章年 今村 和夫
服部 治男

交通対策特別委員会

- ◎小松 正人 ○木村 泰男
小西喜代次 谷永 兼二
拙 藤男 田中 新人
野田 卓治 辻 重治
中西弥兵衛

環境対策特別委員会

- ◎山岡 光広 ○森嶋 克巳
土山 定信 橋本 恒典
鷗飼 勲 白坂萬里子
中島 茂 橋本 律子

組合議会議員

- ◆甲賀広域行政組合議会議員
野田 卓治 伴 資男
安井 直明 葛原 章年
服部 治男
- ◆公立甲賀病院組合議会議員
小松 正人 村山 庄衛
中西弥兵衛 石川善太郎
中島 茂

市民の生活と環境・福祉に関わる委員会です。

民生常任委員会

暴力団から危害を加えられるおそれのある方を警察が保護します。



甲賀市暴力団排除条例の制定について
暴力団が、市民生活および社会経済活動に介入し、市民等に多大な悪影響を与えている状況に鑑み、暴力団の排除を推進することで、市民生活の安全と平穩の確保および社会経済活動の健全な発展に寄与することを目的とする条例です。

平成23年8月1日施行の滋賀県条例の制定を受け、当市では平成24年4月1日施行を目指しての提案です。

甲賀市市民福祉活動センター
この条例は、市民が安心して快適に暮らすことができるまちづくりを推進するとともに、地域の福祉活動およびボランティア等の市民活動の促進を図るため、その拠点として、甲南町寺庄9番地(甲南中学校前、旧甲南町学校給食センター)に設置するも



甲賀市市民福祉活動センター

付託議案

暴力団排除条例を可決 新規条例制定議案2件、請願3件を審査

当常任委員会は、12月13日に、委員会を開催し、執行部に資料の提出と説明を求め、新規の条例制定2件について、慎重に審査いたしました。引き続き、市民より提出されました請願3件について、請願者の説明の後、慎重審査を行いました。

24年4月1日施行を指しての提案です。

きものと決しました。

審査の結果、全員賛成で原案通り可決すべ

1跡に設置するも

市行政推進の中核を担っている委員会です。

総務常任委員会

請願審査

○「日米地位協定」の見直しを求める請願→採択
○消費税の大増税に反対する請願→不採択
当常任委員会は、去る12月13日に委員会を開催し、請願者の出席を求め慎重に審査を行いました。

請願第11号「日米地位協定の見直しを求める請願書」について

請願第12号「消費税の大増税に反対する請願書」について

当請願については請願者から趣旨の説明を受けた後、紹介議員同席の中、質疑を行いました。この件については、今日まで米軍基地周辺において発生した事故、事件に起因するもので、日米安保条約第6条に基づく地位協定第17条についてであり、日本の主権や日本人の命が軽んじられる現行の地位協定を抜本的に見直すべきであるという内容で、委員数名から質疑がありましたが、討論はなく、採決の結果、賛成多数により本請願は採択すべきものと決しました。



委員会風景

当請願については請願者から趣旨の説明を受けた後、質疑を行いました。委員からは毎回、消費税増税の反対意見が出るが、そのつど否決されている。大震災が起きた中で請願の趣旨はわかるが少子高齢で社会保障費の増大する中、税は上げない方がよいのは当然ではあるが、今の社会構造をかかえ、税の改革にはもっと深い議論が必要ではないかとの問いがあり、これに対し紹介議員からは、課税の考え方としては、所得が多いほど多く課税されるのが原則という税制をつくる必要がある。法人税・所得税・



総務常任委員

所管事務調査

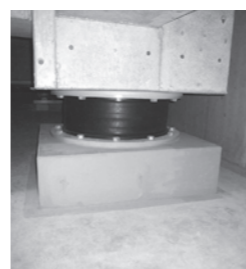
愛知県刈谷市 新庁舎を視察研修

愛知県の南西部に位置する刈谷市は、昭和25年に市制を施行、現在は人口14万人を有する工業都市です。昭和29年に竣工した旧庁舎は県内でも古く、今日まで増改築をくりかえしてきたわけですが、東海地震等の発生が懸念される中、災害応急対策活動の拠点機能の施設充実の必要性があるとの考えのもと3箇年の継続予算を組み平



刈谷市庁舎全景

利用時間は午前9時から午後10時まで。休館日は12月29日から翌年1月3日まで。管理に関する業務は指定管理者に行なわせることになっていきます。審査の結果、全員賛成で原案の通り可決すべきものと決しました。



免震設備

る賛成討論としては、すべての人に5%課税すれば、低所得者の暮らしが立ちゆかなくなるばかりか、消費税増税は少なくとも4年間政府の公約に反する行為であるとのこと。反対討論では、財政の再

建や震災の復興を考えると全ての人が、全てのものに課税されるのが平等であり、再建のためには近道であるとのことでした。採決の結果は賛成多数にて本請願は不採択とすべきものと決しました。

請願審査

○年金受給資格期間の10年への短縮を求める請願
○消費税によらない最低保障年金制度の創設を求める請願
○無年金・低年金者への基礎年金国庫負担分3万3千円の支給を求める請願

審査に先立ち、委員会協議会を開きし請願人より説明を受けました。その後、再開、委員会に於ける審査結果は次のとおりです。

○年金受給資格

10年にして欲しいという思いは一定理解できる。しかし、長年にわたり納付してきた方との不公平感が残る。財源の問題に突き当たる。10年で止めた場合年

金が必要との意見がありました。

○無年金・低年金

年金制度は納付が義務。一律の給付はモラルハザードを招く。公平性の観点からも疑問。他方、最低保障年金制度ができるまでの救済。国庫負担分のみ支給のため妥当と考える。採決の結果、3議案とも賛成少数で不採択すべきものと決しました。



民生常任委員

産業・建設・観光振興・上下水道の整備に関わる委員会です。

産業建設常任委員会

文化やスポーツ、教育に関わる委員会です。

文教常任委員会

所管事務調査

認定こども園について

当常任委員会では12月14日に委員会を開催し、認定こども園開園にかかる進捗状況、基本協定書について調査しました。

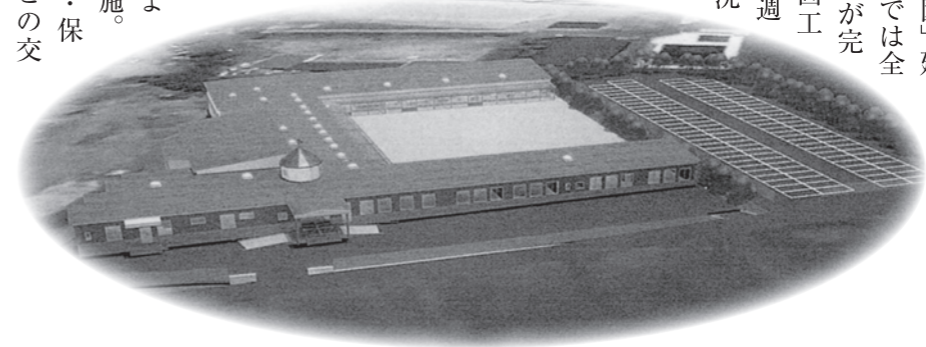


工事が進む認定こども園

「認定こども園」開園に係る進捗状況について、教育委員会より前回委員会からの取り組み状況について説明を受けました。主な内容は10月5日基本協定書を法人と締結、11月1日号広報「あいこうか」に記事記載。訴訟関連の状況では12月6日第2回期日において原告側からの意見書が提出、13日反論意見書を提出。保護者会への取り組み状況については12月7日「基本協定書」の写しを保育園・幼稚園に設置し閲覧いただけるよう配備。引き続き状況については11月1日から18日間にわたり、園長・副園長・主任・担任予定者への引継ぎを実施。

「認定こども園」建設工事進捗状況では全棟の鉄骨建て方が完了し、当初計画工期より概ね2週間早い進捗状況である。

今後の取り組みについては12月に甲南幼稚園・こうなん保育園の職員に対し「引継ぎマニュアル」による引継ぎを実施。1、2月に新規採用者に対し「引継ぎマニュアル」による引継ぎを実施。貴生川幼稚園・保育園児と職員との交



認定こども園完成予想図

流を実施。公立園の保育内容について、事前研修を実施。2月下旬認定こども園入園予定者と保護者に対し新園舎の見学会を実施。3月、新園舎にて、火災、地震・不審者などを想定した実地訓練を実施。園児の登園時の受入および降園時の引渡を想定した実地訓練を実施。認定こども園に入園決定となった保護者と法人および市との懇談会を開催と説明があり、基本協定書について詳しく質疑を行いました。

定した実地訓練を実施。園児の登園時の受入および降園時の引渡を想定した実地訓練を実施。認定こども園に入園決定となった保護者と法人および市との懇談会を開催と説明があり、基本協定書について詳しく質疑を行いました。



文教常任委員

所管事務調査

学校給食について調査

当常任委員会では甲賀市における学校給食の放射線測定体制について調査しました。

本議会で承認した放射線測定器の導入について、水口・東部・信楽の学校給食センターについてはガンマ線スペクトロメータ3台配備、公立および私立の自園給食をされている各保育園に簡易測定器を1台配備し、万一異常値が出た場合に給食センターの測定器で再測定し2段階の体制を整える。



給食センターに配備されるガンマ線スペクトロメーター



自園給食をされている各保育園に配備される簡易測定器

付託議案

請願審査、甲賀市景観条例の制定について慎重審議

当常任委員会の所管は、産業経済部、建設部、上下水道部です。本12月定例議会で付託された建設部都市計画課担当の議案125号の「甲賀市景観条例の制定について」の審査を行いました。

甲賀市景観条例は、美しいふるさと甲賀の風景を守り育てることを目的とする新規条例制定であり、委員全員から執行部に質疑を行い全員が必要であるとの結論に達し、本議会で議決されました。

同条例は目的等を明記した第1章・総則、第2章・景観計画の策定等、第3章・行為の制限、第4章・景観重要建築物等、第5章・景観審議会、第6章・雑則の6章から構成されています。

委員の中から議決後も注視すべきであるとの意見は、

①景観地域決定について



産業建設常任委員

ては市民の参加が必ずや本条例で定められている甲賀市景観審議会の委員は公募も必要

②風景を守るためには持ち主が不明となった建築物、樹木の管理は市も介入が必要

③文化財保護法との接

点について

⑤決定後の啓発については今後の予定としては平成24年の4月に景観行政団体の指定を受けると共に、景観計画の策定が行われます。

12月定例会では、前記の景観条例の審議を付託されましたが、市の今後を左右する大切な条例であると認識しており、慎重に審議しました。今後の委員会において議決後も内容について監視していきます。



所管事務調査

4ヶ所の現場を現地調査

11月21日に初めての委員会を開催し、所管事務調査を行いました。

調査内容は

①水口第二処理分区における汚水処理について

②一般交通に供する路線からの除外について

③大野交差点改良事業に伴う道路の新設について

④漆谷中山谷線法面崩壊対策事業について

漆谷中山谷線法面崩壊対策事業は、甲賀地先の同路線が法面崩壊の危険性があり、その対策が検討されています。



漆谷中山谷線法面調査



大野交差点改良工事

水口第二処理分区では、松尾台地区下水道面整備工事が2月末を工期に実施されています。現在建設中の公立甲賀病院の汚水も処理される予定です。

一般交通に供する路線の除外は、水口町古城が丘地先において県営住宅建替事業による旧住宅団地の解体により、市道としての管理が不要となるものです。

土土地先では、大野交差点改良事業が行われており、市道大野1号線が新設されます。

漆谷中山谷線法面崩壊対策事業は、甲賀地先の同路線が法面崩壊の危険性があり、その対策が検討されています。

当委員会の所管は幅広く、今後現地踏査も含め積極的に所管事務調査を行っていきます。委員会では、ハード面と共にソフト面にも目を向けていきます。

一般質問

17人の議員が 市の考えを問う

◎より詳細な内容はインターネット・甲賀市ホームページの市議会（議会中継）で本会議の様式をご覧ください。

<http://www.city.koka.shiga.jp/>

◎傍聴のご案内
本会議は原則として公開されています。議会を傍聴することにより、市政の方針を知ったり、市議会の活動に触れていただくことが出来ます。ぜひ市議会の傍聴にお越しください。

問 甲賀市の文化芸術に対しての想いについて。

市山定信 議員
A 格調高いまちづくりを

問 甲賀市の文化芸術に先人から受け継いだ文化芸術を守り、世代から世代へ継承することが文化芸術であると思っている。

市山定信 議員
Q 甲賀市の文化芸術は

問 他市に比べて特色は。また平成24年度予算に反映されるのか。

市山定信 議員
A 格調高いまちづくりを

問 甲賀市の文化芸術に先人から受け継いだ文化芸術を守り、世代から世代へ継承することが文化芸術であると思っている。

市山定信 議員
Q 甲賀市の文化芸術は

問 教育面から芸術に關して十分に時間が与えられているのか。

市山定信 議員
A 格調高いまちづくりを

問 本物の芸術に触れさせるのは予算が必要であり考えを聞く。

市山定信 議員
Q 甲賀市の文化芸術は

問 中学校の文化祭のテーマは全市で共通としていないのか。

市山定信 議員
A 格調高いまちづくりを

問 鑑賞する費用は原則保護者負担としているが、校外で行なう場合の移動費用は、支援を検討している。

市山定信 議員
Q 甲賀市の文化芸術は



土山中学校文化祭にて

問 甲賀市職員・教職員用のノートパソコンは、いつ・何台更新するのか。

市森嶋克巳 議員
A 無料ソフトウェアを採用する

問 甲賀市職員・教職員用のノートパソコンは、いつ・何台更新するのか。

市森嶋克巳 議員
Q パソコン更新とソフトウェアは

問 甲賀市職員・教職員用のノートパソコンは、いつ・何台更新するのか。

市森嶋克巳 議員
A 無料ソフトウェアを採用する

問 文書作成や表計算等のソフトウェアをインターネットで無料配布しているリブレオフィスを採用するのは何故か。他の自治体での利用は。

市森嶋克巳 議員
Q パソコン更新とソフトウェアは

問 甲賀市職員・教職員用のノートパソコンは、いつ・何台更新するのか。

市森嶋克巳 議員
A 無料ソフトウェアを採用する

問 甲賀市職員・教職員用のノートパソコンは、いつ・何台更新するのか。

市森嶋克巳 議員
Q パソコン更新とソフトウェアは

問 市内全ての小中学校のホームページを開設すべきと思うか。

市森嶋克巳 議員
A 無料ソフトウェアを採用する

問 この件を市長はどのように考えているか。

市森嶋克巳 議員
Q パソコン更新とソフトウェアは

問 甲賀市職員・教職員用のノートパソコンは、いつ・何台更新するのか。

市森嶋克巳 議員
A 無料ソフトウェアを採用する

問 甲賀市職員・教職員用のノートパソコンは、いつ・何台更新するのか。

市森嶋克巳 議員
Q パソコン更新とソフトウェアは

問 甲賀市職員・教職員用のノートパソコンは、いつ・何台更新するのか。

市森嶋克巳 議員
A 無料ソフトウェアを採用する



市職員が使用するノートパソコン

目次

平成23年 第6回甲賀市議会定例会一般質問

平成23年12月8日・9日・12日

順番	質問方法	氏名	質問事項
1	分割	土山 定信	1 甲賀市の文化芸術について
2	分割	森嶋 克巳	1 市職員及び教職員用ノートパソコンの更新について 2 市内の小中学校等のホームページについて
3	一問一答	鶴飼 勲	1 平成24年度予算編成方針について 2 甲賀市庁舎改修整備検討委員会について 3 国民宿舎「かもしか荘」のリニューアルについて 4 甲賀環境・総合事務所廃止に伴う本市への影響について
4	分割	白坂 万里子	1 女性の視点で防災対策を 2 防災教育について 3 ドナグロブ（乳がん触診を手助けする特殊な手袋）の普及促進を 4 ゴミ袋の袋の改善を
5	分割	中西 弥兵衛	1 市立信楽中央病院改革プランの進捗状況と病院経営評価委員会の設置について 2 信楽高原鐵道の利用促進事業への後方支援と滋賀交通ビジョンへの位置付けについて 3 食育における地産地消のさらなる促進について
6	分割	木村 泰男	1 平成24年度予算編成方針について 2 第2次甲賀市行政改革推進計画について 3 体育・文化施設の管理運営と体育施設の使用実態について 4 甲賀市の人口減少について
7	分割	加藤 和孝	1 健康づくり事業の充実について 2 認知症予防の取り組みについて 3 安全・安心のまちづくりについて 4 ごみステーションについて
8	分割	辻 重治	1 高齢者の交通安全について 2 戸別所得補償経営安定推進事業について
9	分割	橋本 恒典	1 道路交通センサス結果と道路整備について 2 地域防災と消防関係施設について 3 かふか21子ども未来会議と子ども議会の成果について
10	分割	山岡 光広	1 国民生活を破壊するTPP交渉参加反対の一点での共同と国への働きかけを 2 降雨時の土砂堆積で再三影響を受ける「風船ダム」の機能回復と抜本的な対策を 3 第5期介護保険事業計画について ① 介護保険料引き下げのために「財政安定化基金」の取り崩しを ② 要支援など軽度の高齢者を介護保険から除外することのないように ③ 特別養護老人ホームの待機者解消へ 4 来年度の保育園・幼稚園の入所希望について 5 県立養護学校のマンモス化解消と通学保障について
11	一問一答	冊 藤男	1 地域情報基盤整備事業について
12	分割	小西 喜代次	1 福井原発への緊急対応の申し入れをもとめる 2 信楽高校分校化は一年延長でなく白紙撤回に 3 信楽地域での公共交通の改善を 4 地域包括支援センターを生活圏単位に設置を 5 大雨、台風の災害復旧対策を早急に
13	分割	小松 正人	1 平成24年度市立貴生川幼稚園・保育園及び私立「認定こども園」の入園第一希望から何が見えてくるか 2 水口城のお堀りの一部復元と散策ができる周遊道の確保整備を求める 3 スポーツの森を、市民に開放されたより利便性のある総合的施設としての活用方策を問う 4 市民参加型でコミバス路線網の再編実現を
14	分割	安井 直明	1 平成24年度予算編成方針を問う 2 保育園・幼稚園の園長等の身分について 3 小学校・中学校の修学補助の拡大を 4 地域市民センター開設から今日までの教訓と今後の在り方を問う
15	分割	田中 新人	1 甲賀市の自然エネルギーへの転換施策について 2 シカ捕獲対策の強化と有効活用について 3 通学歩道の安全対策について 4 ボイ捨て多発について 5 水口大橋北詰道路北側T字路について
16	分割	的場 計利	1 市道の路面表示について 2 商店街の老朽した街路灯について
17	一問一答	今村 和夫	1 甲賀市における人材育成について 2 認定こども園について

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

議員 勲 議員 鶴

Q 平成24年度予算編成方針は

A 重点施策の取り組みを一層推し進める

問 今後の財政見通しと予算編成に向けての基本的な考え方は。

市長 限られた財源を重点的かつ戦略的に配分し、生涯を通じた人づくりや安全・安心な暮らしを目指す。施策の重点化を図りながら、総合計画に掲げる将来像の実現に向けて、平成23年度予算で掲げる重点施策の取り組みを一層推し進める年の予算となるよう、予算編成に取り組んでいる。

問 甲賀市庁舎改修整備検討委員会について。

市長 庁舎の現状と庁舎整備の必要性、基本理念と基本方針、求められる庁舎の機能、庁舎の基本指標と建設計画などに分けて、幅広い視点から委員の意見をいただき検討を進めている。



老朽化が進む水口庁舎

問 国民宿舎「かもしか荘」のリニューアルについて。

産業経済部長 耐震診断の結果、全面建替えに決定した。平成25年度のリニューアルに向け、来年秋の着工予定で計画を進めている。

他に、「甲賀環境・総合事務所廃止に伴う本市への影響について」質問しました。

Q 来年度予算の編成方針は

A 将来への取り組みを一層推進する

木村泰男 議員

問 来年度予算は、今年度と比べて積極型か、従来の緊縮型に戻すのか。

市長 市の将来への取り組みを一層推し進める年の予算とする。

問 来年度予算規模の開示はいつ。

市長 3月の議会提案に向け熟慮する。

問 文化スポーツ振興課で体育と文化両面の取り組みが十分に行えるのか。

教育長 現組織でその機能が果たしていると認識している。

問 旧町ごとに異なる体育・文化振興体制を

どう構築するのか。

教育長 財団法人に指定管理の所と市直営の所とあるが、推進体制はどちらも整っている。

問 甲賀市の人口減少結果と分析は。

総合政策部長 平成20年をピークに減少に転じた。水口は増加、甲南は微増、土山・甲賀・信楽で減少した。単身世帯と二人世帯の増加で世帯数は増加した。



人口が急増した貴生川地区

問 人口減少をくい止める方策は。

総合政策部長 移住者や交流人口の増加に努める。

他に、平成26年度までに実施される第2次甲賀市行政改革推進計画の71項目の内、6項目について関係各部に質問しました。

Q 女性の視点で防災対策を

A 女性の参画の拡大を推進する

白坂萬里子 議員

問 現下の防災会議の構成や担当部署の女性職員配置は必要と考えるが、所見を伺う。

市長 避難所運営や生活支援などに女性の視点は欠かせない。女性の参画が拡大できるよう防災体制づくりを推進していく。



女性参画の拡大を

問 この4年間、女性の視点からどういった向上策をとられたか。

加藤和孝 議員

Q 健康マイレージに対する見解は

A 他市の効果等を踏まえ研究する

問 健康づくり事業を充実するため、他市の健康マイレージ制度を参考にしたい。

健康福祉部長 健康マイレージは目的がポイントを集め物品等を得ることだけになることも危惧されるので、他市の取り組みの効果を市の取り組みの効果を踏まえ研究する。肺炎球菌ワクチンについては、7月1日より後期高齢者医療制度で全加入者を対象に接種費用の一部助成を開始した。腎疾患については、痛風検査や血糖検査と共に検査結果の分析を行い特定保健指導として



問 認知症等を予防する観点から、高齢者に対する特定健診で聴力検査を実施しては。また、介護予防教室等で小型簡易聴覚チェックを利用して聴力検査を行っては。

健康福祉部長 直ちに特定健診に聴力検査を含めることは考えていないが、早期における聴力のチェックも必要であることから、介護予防教室等で小型簡易聴覚チェックを導入し介護予防に繋げていきたい。

Q 学校給食における安全対策は

A 放射性物質の自主検査体制を進める

中西弥兵衛 議員

問 地産地消のさらなる促進も含め甲賀産の米や野菜の利用状況は。

教育部長 米飯給食の米を全て甲賀市産にしており、米飯給食の回数については現在検討している。野菜においては全てを市内産で賄うことができないため現状では市外産も使用している。

問 食育畑の現状と今後の活用は。

教育部長 食育畑は平成19年度から学校給食における地産地消の向上を目的に設置され、農作業体験を通じ小学生に自然の恵みや食の大切さを伝えていただいている。安全でおいしい旬の野菜を納入いただいております。今後その活用を進めたい。



購入予定の放射性測定器

問 福島第一原発の事故以来、子どもをもつ親の中で給食材に対する不安が高まっているがその現状と対策は。

教育部長 学校給食の食材は地産地消が原則で安全安心をモットーにしている。一部市外産の野菜については業者に産地の明記を義務づけている。食品に含まれる放射性物質の自主検査については専決予算で認めていただいた測定器を設置、自園給食を実施している園には簡易測定器を設置し、安全で安心である学校給食の提供に努めたい。

Q 高齢者の交通安全対策は

A 地域での交通安全啓発を実施

辻重治 議員

問 歩行者・自転車など、交通弱者といわれる立場の死亡事故が多いが対策は。

市民環境部長 高齢者の関する事故が約50%を占めていることから、高齢者思いやりゾーン地区が指定され、安全対策の向上に繋がると期待している。スクーリングでは、道路表示など運転者の視覚に訴える。また、高齢者交通安全訪問指導員について、未然防止を目的とし、4月から2名を配置された。

問 高齢者の方が運転免許証を自主返納され

た支援制度は。

市民環境部長 コミュニティーバス回数乗車券と、免許証に代わる書類として住民基本台帳カードを無料交付している。生涯回数券などは、考えていない。



守ろう交通マナー

問 平成24年度戸別所得補償経営安定推進事業の概要と、本市の取り組みは。

産業経済部長 農地集積を促す仕組みや、中心となる経営体と、それ以外の兼業農家や自給的農家が、地域農業のあり方を示す集落計画が必要となる。意欲の高まった地域から集積促進に繋げ、農地集積協力が交付されるもので活用する。



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



橋本恒典議員

Q 道路交通センサスと道路整備

A 新名神の開通等により影響

問 前回の道路交通センサス交通量調査との比較と市道への影響は、建設部長 新名神の開通と国道307号線グリーンバイパス無料化による影響が現れており、市道への影響についても注視していく。

問 県道路整備アクションプログラムの見直しと整備状況は、健康福祉部長 県道路整備マスタープランの見直しが進められており、平成24年度に見直される予定。未完了や未着手の路線は引き続き要望していく。



交通量の多い市内の道路

問 老朽化した火の見やぐらの改修計画は、政策監 市内には火の見やぐらが33ヶ所残っており、実態調査を行い計画的に乾燥柱に立替または撤去を行う。

問 かふか21子ども未来会議と子ども議会の成果は、教育長 活動を通じ仲間づくりや連帯感を育み、学びを通して子どもたちの成長を実感した。有意義な取り組みであり、青少年の育成の観点からも大変効果があったと考える。

Q 風船ダムの機能回復を

A 土砂除去へ市単で支援

山岡光広議員

問 暮らしを破壊するTPP参加反対一点での共同を、市長 農業だけでなく集落全体の存亡にかかわる問題。

問 豪雨時に土砂が「風船ダム」に堆積し機能喪失する状況が相



土砂堆積で機能が喪失した風船ダム

Q 光ファイバー敷設工事進捗は

A 当初計画通り

舛 藤男議員

問 新会社の設立及び光ファイバー敷設工事の進捗状況また各種サービス取組状況は、総合政策部長 12月1日付「株式会社あいコムこうか」が設立された。水口・信楽の光ファイバー敷設工事は西電力・NTTの電柱共架占用許可が12月中旬の予定で許可され次第工事着手の運びとなり、全体の工事進捗状況は当初計画通り。各種サービスは、運営会社設立準備室において、概ね原案の作成が完了。甲賀市独自の見守りサービスや買い物支援サービス、電子広報誌については、開発業者と協働し仕上げていくところである。

問 音声告知無料設置の検討は、市長 市民の皆様への安心を実感して頂く必要不可欠なものであり、最も重要な課題の一つであると考えています。早期に軌道に乗る様、道筋に全力を尽くしていきたいと思っております。



甲賀市地域情報化基盤整備事業

問 事業の経済効果は、総合政策部長 6千万円以上の直接効果があると考える。

問 間接効果は、産業経済部長 買い物支援サービスなど、地元事業者の活性化や地域内再投資アップに繋がると考える。

Q 信楽高校分校化の白紙撤回を

A 必要に応じて県に要望活動続ける

小西喜代次議員

問 福井原発事故の滋賀県、甲賀市への影響の想定と対策はどうか、市長 甲賀市は福井原発から80キロで、放射性物質飛来の可能性も十分考えられ、あらゆる対策が必要と判断。来年秋までに原子力災害対策計画を策定する。

問 信楽高校分校化は一年延長ではなく、白紙撤回を求めるべきではないか、市長 単に撤回を求めるだけでなく、魅力あふれる学校づくりのチャンスとしたい。必要に応じて要望活動続ける。



信楽駅前分校化反対の看板

問 信楽町の雲井地域と長野地域の直通バスの運行、帝産バス増便の取り組みはどうか、総合政策部長 雲井駅で信楽高原鉄道への乗り換えをお願いしたい。帝産バスには乗車人員増加のため、連携時刻表に帝産バス時刻表も掲載して、側面的支援で沿線の役割を果たしている。

問 地域包括支援センターの生活圏単位（水口二カ所、旧町各一カ所）の設置を、健康福祉部長 生活圏単位の設置も含め、体制の充実に努める。

問 台風等の災害復旧対策を早急に、建設部長 順次優先順位をきめて復旧を進めていく。

小松正人議員

Q 新甲賀病院への通院バスの計画は

A 24年度中に具体的に検討をする

問 条例廃止後も「公園を廃止しないで」との貴生川保護者の悲かな声が伝わる。この事態をどう受けとめるか、教育長 認定こども園と市が協定書を交わし園児たちが一日も早く新しい環境に馴染んでもらえるよう努める。

問 水口城のお堀の一部で埋立てられた部分の復元ができるかどうか、また散策できる周遊道の確保と整備を求める。教育長 現在のところお堀の復元及び散策道の計画はもっていない。



水口城のお堀が埋立てられている所

問 スポーツの森へ車でなく公共交通を利用

市長 市民の皆様への安心を実感して頂く必要不可欠なものであり、最も重要な課題の一つであると考えています。早期に軌道に乗る様、道筋に全力を尽くしていきたいと思っております。

問 事業の経済効果は、総合政策部長 6千万円以上の直接効果があると考える。

問 間接効果は、産業経済部長 買い物支援サービスなど、地元事業者の活性化や地域内再投資アップに繋がると考える。

Q リフォーム補助継続拡大を

A 前向きに検討する

安井直明議員

問 24年度予算に耐震化の促進、自主防災組織の育成と補助の拡大、市の未利用地の有効活用、住宅リフォーム制度の増額などを盛り込み、耐震化の促進や、未利用地を整備し有効活用を、同和予算等の見直しを、市長 耐震、自主防災はさらに促進、リフォームは、喜ばれており前向きに検討する。

問 未利用地の有効活用、住宅リフォーム制度の増額などを盛り込み、耐震化の促進や、未利用地を整備し有効活用を、同和予算等の見直しを、市長 耐震、自主防災はさらに促進、リフォームは、喜ばれており前向きに検討する。

問 保育園・幼稚園の園長や、図書館長を課長級に、総合政策部長 24年度中に具体的に検討する。

来所者数にミスのあった地域市民センターの集計

	7月伴谷	9月水口	8月綾野	9月岩上	9月甲南第三
証明①	43	5	4	9	4
収納②	50	15	126	8	10
計	93	20	130	17	14
来所者	70	0	63	0	0

問 地域市民センターの来所者数がゼロは疑問だ。センターの実態がわからない、新規開設したが、取り組みの姿勢が問われる。総合政策部長 来所者数はミスがあった、より良い地域市民センターへ努力する。

問 修学旅行・通学自転車補助の復活を、教育長 厳しい経済状況は認識しているが、復活しない。

問 地域市民センターの来所者数がゼロは疑問だ。センターの実態がわからない、新規開設したが、取り組みの姿勢が問われる。



特別委員会の動き

議会改革特別委員会

「議会基本条例の策定に向けて」継続中

当特別委員会で議会基本条例の策定に向けて協議検討を重ねた結果、草案が出来上がりました。今後議員各位の理解と賛同を得て、市民の皆様へ「案」をお示ししご意見を頂いた上で、議会上に上程し決議といたしたく思います。

まさに議会の憲法であり、議会および議員の活動の活性化と充実のために、議会運営の基本事項を定めるものです。条例の草案は、前文、第1章総則、第2章市民と議会の関係、第3章議会および議員と市長等との関係、第4章討論の拡大、第5章委員会の活動、第6章政務調査費、第7章議会および議会事務局の体制整備、第8章議員の政治倫理、身分および待遇、第9章最高

規範性と見直し手続、第10章補則で構成されています。市民の皆さまの意見を聞く機会・会議や資料の公開・議会報告会等の課題についても実現を目指して検討を重ねております。

委員会は、市民に開かれた解りやすい議会運営、市政の監視・評価等地方議会本来の二元代表制の機能がより一層高められるよう、執行部と緊張感を持った議会運営となることを目指して活動しています。



議会改革特別委員

地域情報化対策特別委員会

「光ファイバー敷設工事始まる」

新しい公共情報サービスへの提供に向けて、市内全域に光ファイバー情報網を整備する、地域情報化基盤整備事業は、通信技術を活用した質の高い公共サービスや行政情報の提供と安心安全なまちづくりなど、情報化を通じて均衡ある発展を図るものです。

本事業のチェックと提案、提言を行い本市の発展に繋る地域情報化の実現をめざすことが、委員会の役割です。

○委員会の審査内容について

事業の推進について、光ファイバー網敷設工事やセンター設備について説明を受け、運営会社設立準備会、並びに運営



地域情報化対策特別委員会

3月議会の予定

- 2月22日 本会議(第1日)
- 2月23日 本会議(第2日)
- 3月 1日 本会議(第3日) 代表質問
- 3月 2日 本会議(第4日) 議案審議
- 3月 5日 本会議(第5日) 一般質問
- 3月 6日 本会議(第6日) 一般質問
- 3月 7日 本会議(第7日) 一般質問
- 3月 9日 委員会(予算特別委員会)
- 3月12日 委員会(予算特別委員会)
- 3月13日 委員会(予備日)
- 3月14日 委員会(予算特別委員会)
- 3月15日 委員会(予算特別委員会)
- 3月16日 委員会(付託議案審査)
- 3月19日 委員会(付託議案審査)
- 3月21日 委員会(予備日)
- 3月23日 本会議(第8日)

伴 資男 前議長、特別表彰授賞

平成 23 年度 滋賀県市議会議長会において、伴 資男前議長が、議長・副議長として4年以上在職されたことに対して特別表彰が送られました。



岩田議長より表彰伝達を受ける伴議員

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

Q 自然エネルギーへの転換施策は

A 将来的な活用を視野に検討する

問 福島原発事故を踏まえ、自然エネルギーへ転換する市の政策は。

市民環境部長 新エネルギーに関して、木質バイオマスや太陽光発電、用水路を利用した小水力発電等将来的な活用を視野に検討する。



旧東海道の通学路

問 市の冬季節電計画は。

市民環境部長 省エネルギーへの更新などの実施効果や、空調の温度管理の徹底、時間外勤務の縮減等により、昨年同時期比10%以上の削減目標を掲げ取り組む。

建設部長 区画線の傷みが酷いことから、区画線補修を順次進めていく。カラー化も含め優先度を定め、推進していく。

問 シカ捕獲対策の強化について伺う。

産業経済部長 甲賀市では、推定生息数5千頭から8千頭で、2千頭を超える捕獲目標数になると考えられる。一度に複数のニホンジカを

Q 損壊街路灯事故の賠償責任は誰か

A 管理責任は所有者が負う

的場計利 議員

問 商店街の衰退が著しい。耐用年数を大きく超えた老朽した街路灯が危険な状態にある。一斉に撤去してしまえば、街筋が真っ暗になり防犯上の懸念がある。さりとしてこのまま先送りもできない。

市として対策、指導相談について聞く。

産業経済部長 市内に12ある商店街いずれも老朽化する街路灯の修繕等について苦慮されている。新設の補助制度もあるが振興計画作成等、補助金採択の条件は難しくなってきた。



1灯欠落の2灯型老朽街路灯

産業経済部長 市の社会活動には損害賠償保険があるが、個人所有については担保しない。

問 防犯灯の役割を担っている準公共設備の街路灯の賠償保険等に支援はあるのか。

問 万一、街路灯が倒れたり、ランプカバー等が落下して怪我、損害等を与えた時の責任は誰が負うのか。

産業経済部長 街路灯の管理責任は一義的に所有者が負う。

自治会等の協力で地域全体で管理する議論を進めて欲しい。

Q 甲賀市の人材育成は

A 自律型人材を育成し組織力の向上を

今村和夫 議員

問 人を活かす人事制度の確立については。

総務部長 職務遂行を通じた能力開発、人事育成に取り組むため、平成20年度から人材育成型人事評価制度を試行導入し、所属長と職員が対話しながら年度当初に目標を設定し、中間時期、年度末にも対話を重ねている。毎年12月には全ての職員から自己申告書を提出させ、職員の適正把握や能力開発に努め、人事異動に活用している。

問 人を育てる職場環境づくりの取り組み状況は。

総務部長 所属長と職員の定期的な面談や、職場単位の研修を毎月2回開催している。幹事課長会議、部長会議の結果を各職場で共有



人材育成で組織力を

問 認定こども園職員体制の現況は。

教育長 園長1名、副園長2名、保育士は異動も含め41名、看護師2名、栄養士調理員8名、心理カウンセラー1名等の採用を行ったと聞いている。

おわびと訂正

11月1日発行のVol.28号の市議会だより、17ページの中島茂議員の一般質問の中で、健康福祉部長の答弁で印刷ミスがありましたので、お詫びして訂正いたします。

正しくは「生活の質を向上させる啓発」です。



組合議会の動き

甲賀広域行政組合議会

「新議員の体制」決まる 第4回臨時議会報告

11月24日(木)、甲賀広域行政組合議会第4回臨時議会が開催され、議事人事では改選に伴い、副議長選挙、監査委員選任が行われました。他に3議案が提出され、いずれも可決されました。

副議長	森 淳	(湖南市)
監査委員	伴 資男	(甲賀市)
議長	服部 治男	
議員	伴 資男	
	野田 卓治	
	安井 直明	
	葛原 章年	

◎甲賀広域行政組合議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例



の一部分を改正する条例の制定について(全員賛成により可決)
 ◎甲賀広域行政組合職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について(全員賛成により可決)
 人事院勧告に基づき、中高齢層(40才以上)の月例給の引き下げ並びに年間給与の調整として期末手当で減額等を行うため改正する。(賛成多数により可決)
 ◎平成23年度甲賀広域行政組合一般会計補正予算(第4号) 主に職員給与減額に よるものです。(全員賛成により可決)(文責 野田卓治)

公立甲賀病院組合議会

平成23年第3回臨時議会において新議事人事が決定された

新組合議員が選出され選挙の結果、議長に矢野進次、副議長に村山庄衛各議員が選出されました。監査委員には植中都議員が選任されました。

議長	植中都	(湖南市)
副議長	松井圭子	
議員	松山克子	
	矢野進次	
議員	石川善太郎	
	小松正人	
	中西弥兵衛	
	中島 茂	
	村山庄衛	
	赤祖父裕美	

◎公立甲賀病院組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定
 ◎損害賠償の額を定める事
 以上2議案が全員賛成



現在の工事風景

議会活動報告 (10月~12月)

10月 3日	環境対策特別委員会		11月 4日	本会議 (臨時会)		12月 9日	広報特別委員会	編集会議
10月 5日	広報特別委員会		11月 15日	行政視察 (総務)	香川県さぬき市 来庁	12月 12日	本会議	一般質問
	議会改革特別委員会		11月 16日	民生常任委員会		12月 13日	総務常任委員会	
	議会運営委員会		11月 21日	産業建設常任委員会			民生常任委員会	
10月 6日	産業建設常任委員会		11月 22日	議会運営委員会			産業建設常任委員会	
	行政視察 (民生)	兵庫県宍粟市 来庁		議会改革特別委員会		12月 14日	文教常任委員会	
10月 13日	議会運営委員会		11月 24日	総務常任委員会		12月 16日	本会議	議案審議・採決
	広報特別委員会	編集会議		環境対策特別委員会			議会運営委員会	
10月 19日	行政視察 (総務)	東京都目黒区 来庁	11月 25日	本会議	議案上程・説明		地域情報化対策特別委員会	
10月 20日	民生常任委員会		11月 29日	地域情報化対策特別委員会		12月 19日	議会改革特別委員会	
10月 24日	総務常任委員会		12月 2日	総務常任委員会			環境対策特別委員会	
10月 25日	環境対策特別委員会		12月 6日	本会議	議案審議・採決・付託	12月 20日	交通対策特別委員会	
10月 26日	産業建設常任委員会		12月 8日	本会議	一般質問		総務常任委員会	
	文教常任委員会		12月 9日	本会議	一般質問・議案上程	12月 21日	広報特別委員会	編集会議
10月 31日	議会運営委員会							

特別委員会の動き

環境対策特別委員会

クリーンセンター滋賀の監視活動「ゴミの不法投棄解決へ」

当特別委員会では、前期の活動をふまえ①産業廃棄物最終処分場「クリーンセンター滋賀」の継続的な監視活動と調査活動②産廃・一般廃棄物、散在性のゴミ対策を含めて不法投棄を許さない環境づくりへ調査と研究活動③原発事故を受けて焦点となっている放射能汚染に関する学習活動の3点を軸に活動していくことを確認しました。



クリーンセンター視察

そこで12月19日には、「クリーンセンター滋賀」を訪れ、事業概要と遮水シート破損事故を受けて再発防止対策・産廃搬入業者の過積載の実態・飛散する粉塵などの対策、さらには放射能測定器配置後の計測結果などについて、報告を受け質疑しました。特に、過積載については、「10t車で23t」という事例や昨年1月から8月までの搬入車両のうち積載オーバーが1/4もあり、事実上黙認状態であったことも明らかにされました。問題発覚後、搬入管理システムの改善・強化で、過積載車両が減ってきていることが報告されました。また、7月に配備された放射線測定器による測定結果で、場内6地点を含む10地点での結果は、いずれも基準値以下でした。安全・安心を確保するためには、現場での危機意識と管理の徹底強化が求められます。

交通対策特別委員会

交通弱者に視点を定めた「コミュニティバスの再編運行整備を」

地域公共交通を整備し住民の利便性を高め、生活圏の拡大や産業の発展に寄与することは当委員会の重要な役割です。鉄道交通網の整備・新規鉄道の構想実現化・コミュニティバス再編運行・新名神の活用など緊急に解決を要する課題が山積です。向う二年間の任期で、実態調査・研究・提案等、全力を尽す決意です。



交通対策特別委員会

12月20日第一回の委員会にて執行部より草津線複線化・信楽高原線道・びわこ京阪奈線(仮称構想実現・甲賀市コミュニティバス運行事業など現状と課題の調査報告を受け、質疑では定期外利用者のうち観光客の動向分析が必要。草津線複線化では利用客増の対策やコミタクとデ

マンドバスの料金設定の違が出されまし た。次に活動の方向性の議論では①コミュニティバスはフリー乗車にしては②交通弱者に視点を定めた対策③コミタクの利用拡大④三雲駅乗り入れの増便⑤工業団地日勤者の利便⑥市職員が乗ってみて改善する⑦複線化は観光戦略で一步踏み込んだ対策⑧先進地視察⑨JR等利用は駅前駐車場の整備が必要⑩帝産バスも含めた事業者との懇談および交通弱者の方との懇談など盛り沢山の意見が集中しました。

広報対策特別委員会

広報紙コンクール 優秀賞受賞

当特別委員会では議会だよりを通して、市民の皆さんに議会をより身近に、より理解していただけるよう、年4回の定例会ごとに発行する広報紙づくりに励んでいます。セミナー受講や視察研修で研鑽を積み、よりわかりやすく読みやすい紙面づくりに心がけています。



優秀賞の盾と賞状

この度、毎日新聞社主催第24回近畿市町村広報紙コンクールにおいて優秀賞を受賞しました。07年の優良賞、09年の奨励賞に続き、3年度目の受賞となりました。

審査評では、「議会だよりとしての使命に忠実な編集と感じさせる。ビジュアルな構成で新メンバーになった当特別委員会におきましても、さらに研鑽を積み、よりよい議会だよりの発行に努力いたします。」

飽きさせない工夫をして、議会の活動が詳しく伝わる。表紙の写真は大きく扱って明るい感じがする。議会と市民を近づけようという積極的な姿勢を感じる。以上の点で選んでいただきました。

「こうか Vol.1 ええとこ 再発見」

市内には、まだまだ知られていない文化・芸術・行事・名所・旧跡などが数多くあります。

市民が出会い交流し、郷土愛を育み、地域の元気につながるような、魅力ある甲賀を発信します。

江戸時代前期の俳人松尾芭蕉は、伊賀上野の出身であったことから滋賀県とのゆかりも深く 80 数基の句碑が残されています。

さて、甲賀には?ありました!ありました! 5 町すべてに 8 基の句碑が。そこで今回から 4 回にわたって甲賀の芭蕉の句碑をご案内いたします。お近くに行かれましたら、一度寄って見られては。



大岡寺境内(水口)

甲賀の芭蕉句碑 ①



いのち婦たつ
中に活たる
さくらかな

芭蕉の「野ざらし紀行」の甲賀の段に、20年ぶりの旧友との出逢いのうれしさ、古木の桜とともに生かされている喜びを詠んだ句です。

古城山の真下、水口の町並を望める処に大岡寺があります。その 35 段の石段を上り山門をくぐった右側に「芭蕉翁碑前」と書かれた円筒型の灯明石とともに芭蕉の句碑が建てられています。1795 年水口藩の俳人で家老であった加藤壺州が発起人となって建てられたと書物にあります。

4 行で彫られた句は、現在白く上書きされ、はっきりとその句を詠みとることが出来ます。



編集後記

◆ 昨年の世相を表す漢字に「絆」が選ばれました。家族や友達、仲間や地域とのつながりの大切さを再認識した年でもありました。

◆ この号より広報特別委員会のメンバーも新しくなり、前期委員会で編集され広報紙コンクールで優秀賞を受賞した議会だより同様に、よりわかりやすく、より見やすくをモットーに市民の皆さんとの絆がぎざける広報紙となるよう、編集に励みたいと思います。

◆ 編集会議では「夢と希望が持てるような表紙の写真がいいね」との声もあり、市議会も市民にとって夢と希望が持てるよう努めるとともに、議会だよりもそのような記事をお伝えできるよう、委員一丸となってがんばります。

◆ 今年もご愛読のほどよろしくをお願いします。(広報特別委員長 谷永兼二)



広報特別委員

カメラの



1月8日早朝より出初め式が開催されました。分列行進で始まり、市民ホール



での式典で表彰の後、車両パレードを終え各方面隊で一斉放水が行われました。本年も市民の安心・安全のためよろしくお願いいたします。

(写真撮影: 舩 藤男)